

条幅部自由参考

12月15日正午必着

明石春浦先生書



愛^二幽棲^一 (李 祁) しずかに幽居することを好む。

明石幸子書



中空^{なかぞら}に小さくなりて照り透り^{とほり}悲しきまでに冬の夜の月 (齋藤茂吉)



白髪三千丈 緣愁似箇長
 不知明鏡裏 何處得秋霜
 (李白)

白髪がなんと三千丈もある！ 愁がつもりかさなって、こんなに長くなったのだ。
 明るい鏡の中の頭へ、いったい何処から秋の霜がふってきたのか、わしにはさっぱりわからない。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

交霜雪於杪歲 (桓彝)

霜雪を杪歲に交う。

杪は末。歳の暮には霜や雪が降る。

寒冬十二月 晨起踐嚴霜
 俯觀江漢流 仰視浮雲翔 (不詳)

寒冬十二月 晨に起きて嚴霜を踐む。
 俯して江漢の流れを觀 仰いで浮雲の翔るを視る。

寒冬の十二月、朝早く起きて歩めば、嚴しい霜を踏む。俯しては江漢の流れをみ、仰いで浮雲のとび去るを眺める。

游少林寺 (沈佺期)

少林寺に遊ぶ 沈佺期

長歌游寶地 徒倚對珠林
 雁塔風霜古 龍池歲月深
 紺園澄夕霽 碧殿下秋陰
 歸路煙霞晚 山蟬處處吟

長歌して宝地に遊び 徒倚として珠林に対す
 雁塔 風霜古り 龍池 歲月深し
 紺園 夕霽澄み 碧殿 秋陰下る
 歸路 煙霞の晩 山蟬 処処に吟ず

激しく多彩な感情に堪へて不安なりマブラも据も風にはためきて (齋藤史)

半紙部規定課題A

12月15日正午必着

溪心
路矣口
刻

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

12月15日正午必着

行書

心知刻
溪路

隸書

心知刻
溪路

明石春浦先生書

草書

心知刻
溪路

行草書

心知刻
溪路

山中に夜は明け初め、旅人は去って行く、空は高く、ものがなしい秋のけはい
地上の川に映じていた天の川はすでに消え去って、かぐわしい草はつめたい露の中に衰えてゆく
いまここに別れて、またも千里のかなたに赴くのだが、若さというものはいつまでも保てるものではない
君の住む剡溪への道がはつきり心に浮ぶ、いささか将来の約束をお届けしましょう

早行寄朱放

戴叔倫

山曉旅人去

天高秋氣悲

明河川上沒

芳草露中衰

此別又千里

少年能幾時

心知剡溪路

聊且寄前期

早行 朱放に寄す

戴叔倫

山曉けて 旅人去り

天高くして 秋氣悲し

明河 川上に沒し

芳草 露中に衰う

此の別れ 又た千里

少年 能く幾時ぞ

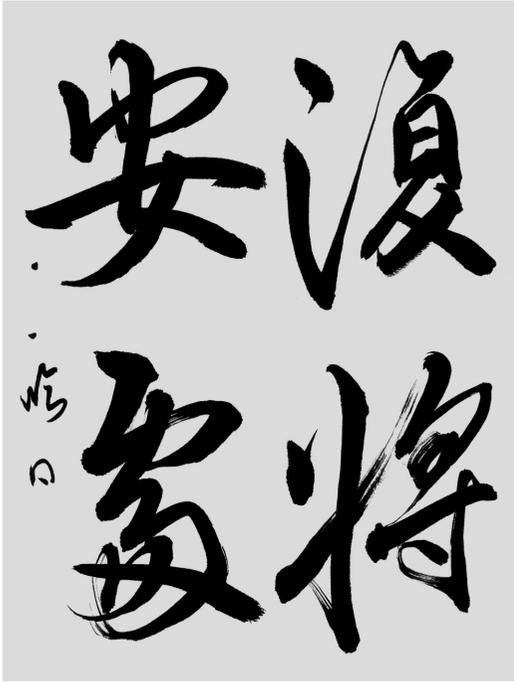
心を知る 剡溪の路

聊且 前期を寄す

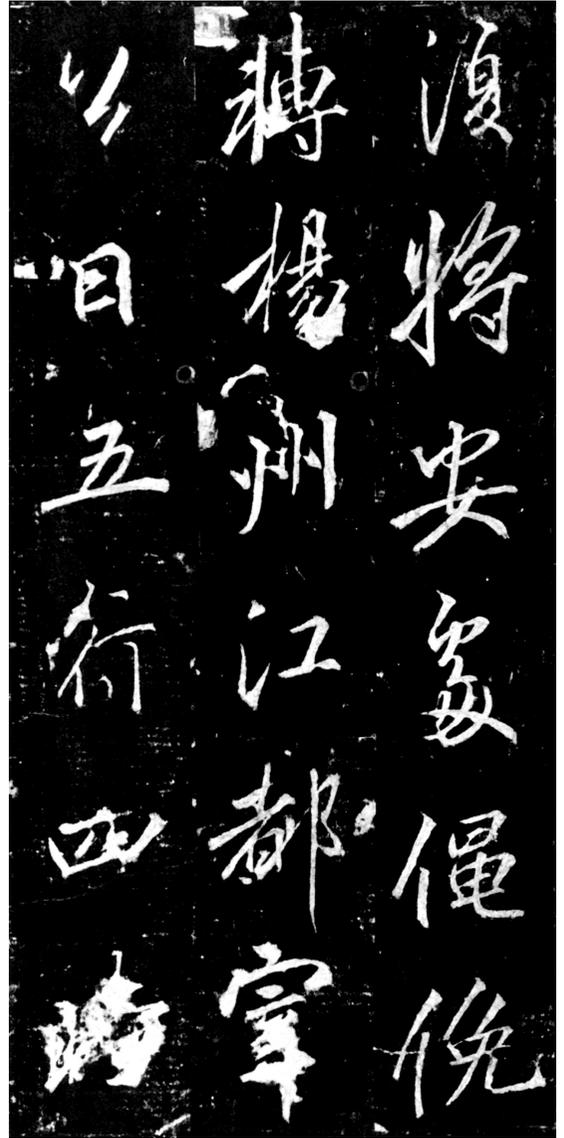
(出典)

朝日新聞社刊

「三体詩」下より



復將安處。



兩宮春聲先生臨書

唐 李邕・李思訓碑

李邕は唐の儀鳳三年（六七八）揚州江都（江蘇省）の生まれで、字は泰和（生まれ、字ともに他説あり）。幼い頃から秀才として知られ、李嶠の推薦で左拾遺となり、玄宗の時に北海太守となったので、李北海と称せられた。

「文選」を注釈した李善の子で、文名高く、その書は唐代における行書の第一人者とも言われている。のちに宰相李林甫に忌まれ、天宝六年（七四七）に杖殺された。

かれの書は碑文が最も有名で、生涯に八百以上の碑文を書いたと伝えられている。はじめ王書を学び、その豪放な性格から剛健で筆勢の雄健さにすぐれた独特な書風を確立したと言われる。

この李思訓碑は、「麓山寺碑」、「法華寺碑」とならんで、彼の最も代表的な碑版のひとつと言われ、骨格鋭く、筆勢強く、明確な結体で、生新の気がみなぎっているとされている。碑文は30行、各行70字で下半分が浸滅していて、ほとんど読めない。右上がりの横画、力強い始筆、転折の鋭さ等を注目したい。

（春濤）

復將安處。僂俛
轉揚州江都宰。

公曰。五行四時。

復た將に安にか処らん。僂俛として揚州江都の宰に転ず。公曰く、五行、四時、

12月15日正午必着

復將安妥僂俛轉
 揚州江都宰

復た將に安にか処らん。僂俛として揚州江都の宰に転ず。

△做書参考▽ ※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

志仁義者其德著志
 功名者其業崇

志仁義者其德著

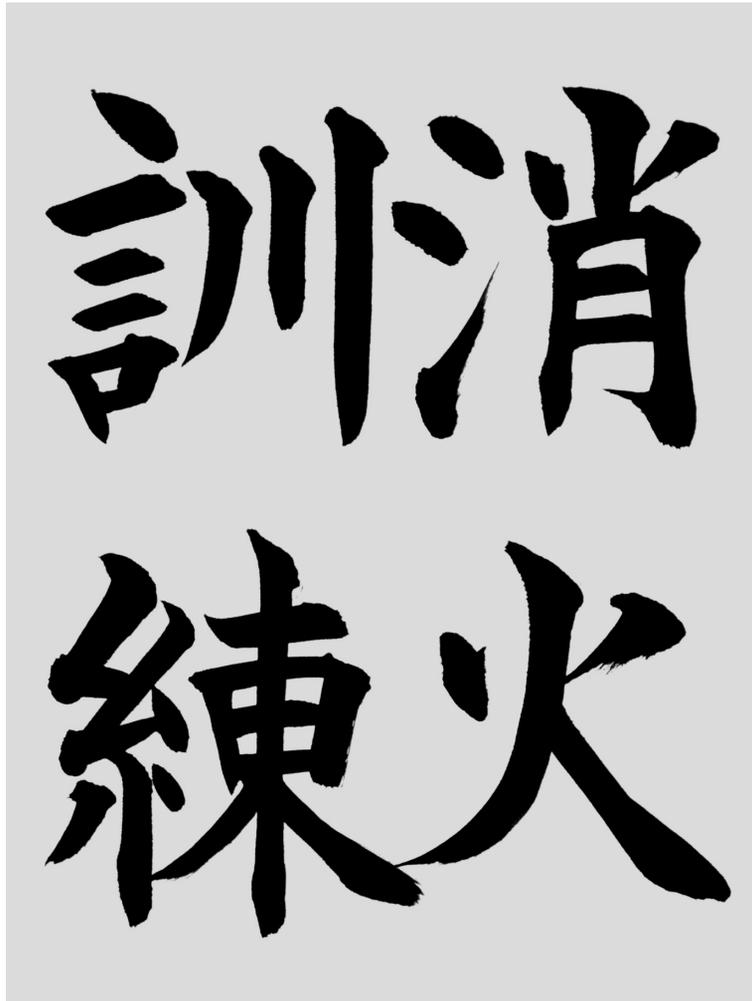
志功名者其業崇

(朱伯賢)

結果はその志に随う。

12月15日正午必着

教育部毛筆



しょうか くんれん
消火訓練

中学一年

雨宮春聲先生書



かなざわ ぶんこ
金沢文庫

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

ゆき ふる さと
雪 ふる 里

小学五年



横川春川先生書

ひか ゆき みち
光 る 雪 道

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

12月15日正午必着



た き 火

小学三年

藤田幸春先生書



ゆ く 年

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

よ る 小学一年・幼年



森戸春濤書

マ ス ク 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

すいので注意しよう	山の天候はかわりや
-----------	-----------

小学五年

るのは考えものだ	自己主張が強すぎ
----------	----------

小学六年

くて遺跡を訪ねた	古代の生活が知りた
----------	-----------

中学

の流れの早さに驚いています	年内も残りわずかとなり時
---------------	--------------

一般(級位)

あけわたる雲間の星の光まで山の端さむし峰の白雪(藤原家隆)

で山の端さむし峰の白雪	あけわたる雲間の星の光まで
-------------	---------------

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ぶ	た
つ	の
の	し
	い
え	
ほと	ど
ん	う

幼年

あ	き
い	立
さ	し
つ	て
を	か
す	ら
る	

小学一年

マ	手
ス	作
ケ	り
ー	の
キ	ク
で	リ
す	ス

小学二年

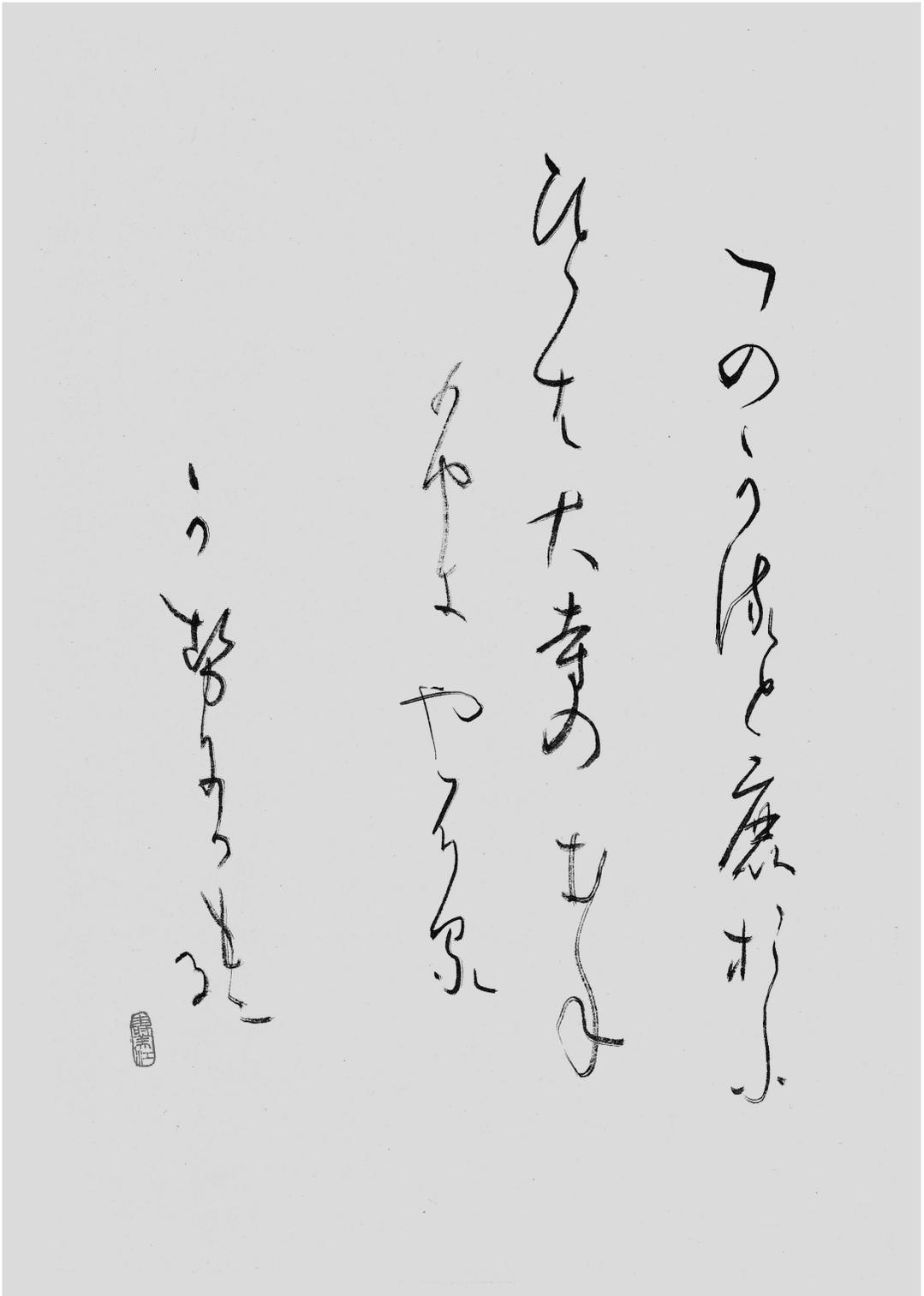
夕	火
ー	の
を	用
つ	心
く	の
つ	ポ
た	ス

小学三年

す	失
よ	ば
う	い
に	を
努	取
力	り
す	も
る	と

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

つのかると 鹿おふひとは 大寺の むねふきやぶる かげにかもにる (會津八一)

可流 於 者 年布支不累 可勢尔可 二